

「将来の大人たち」と仲間になり、
ともに地域社会で活躍するために
あなたが関われる

4 つのこと

想像してみてください。1,000人の子どもたちすべてが地域に支えられ、大人になって活躍できる社会が実現したら、この香川県はもっと豊かになると思いませんか？そこにはあなた個人の暮らしも含まれています。1人ひとりが小さく始められる、応援の形をご紹介します。

1

寄付で応援

賛助会員となり、私たちのパートナーになっていただけます。
あなたの支援がどのように役立っているのかは、
年2回お送りさせていただく会報で見ることができます。
個人3,000円～/団体5,000円～(入会金無料)

2

物資支援で応援

子どもたちが求めている物資を、
随時「ほしいものリスト」としてまとめています。
イベントにおけるプレゼントや、
学習を支える物品・教材として役立てます。

ほしいものリストは
ここからCheck



3

ボランティア・知識・技術で応援

前ページでご紹介した「グッドブラザー」事業へのご参加をはじめ、
各種専門家の方、
保育士・教育免許をお持ちの方などに
活躍していただける場があります。

4

チャリティーグッズを購入して応援

ご購入いただいたチャリティーグッズの売上を
未来ISSEYの活動費として役立て、
子どもたちに還元します。
レモネードスタンドなど楽しいイベントも随時開催しています。

10年後の
ための
未来貯金

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



私たちはSDGsに取り組んでいます。



Message

未来 ISSEY の活動は、何より私たち自身が病気に悩む子どもたちを抱え、
苦労してきたことが原点になっています。
当事者の立場だからこそ、まだまだ地域社会に足りない支援のあり方が分かります。
だからこそ、誰よりも「みんなが希望を持って明るい未来を感じられる香川県」を創りたい。
この想いを実現するために、皆さんの力をかかしていただけませんか？

吉田ゆかり

子どもが病気になっても子どもとその家族が前向きに生活が送れる未来を目指して

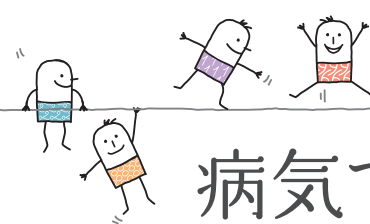
NPO法人未来ISSEY

設立:2018年11月 事務局:〒763-0003 香川県丸亀市葭町17
URL:https://miraissey.com MAIL:miraissey@gmail.com

TEL:0877-88-9835 (平日9:00~12:00 13:00~17:00)



HPはこちらから



10年後には…

未来

病気で悩む1000人の子供たちが
社会で活躍しているように

伝えていただけませんか？

まず身の回りの3人へ、

私たち未来ISSEYの活動を、



病弱児とその家族が
希望をもって
生活できる香川県を創る！

現在この香川県には、小児がんをはじめとする、

小児慢性特定疾患を抱える子どもたちが約1,000人います。

彼らの多くが長期入院で家と学校から離れ、

悲しい想いをしています。

未来ISSEYの使命は、子どもたちとその家族が、誰ひとり取り残されず、

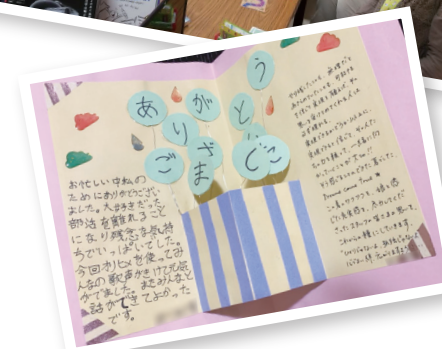
自らの力を生かせる機会を育むこと。

1,000の力をもう一度社会へつなぐ。

10年後の未来のための約束を、ここでお伝えします。

未来ISSEYが病弱児と家族の支援をしている理由

病気の子どもたちとその家族が抱える“心の状況”を、医療者・教育機関・行政が正しく把握しているか、というと、残念ながらまだまだ整備が追いついていません。私たち未来ISSEY自身も当事者の集まりです。地域のつなぎ手となり、社会全体に周知していきます。



このパンフレットのページを開いていただくと、私たちの具体的な取り組みと目指すビジョンが分かります。

未来ISSEYが「10年後の未来」を実現するビジョン

知っているからみんなで支援できる。社会の担い手たる子どもたちと、働く力があるのに発揮できないご家族の方々。病気という理由だけで、彼らを社会から取り残すのは損失です。子どもたちを中心に、利害をともにする人々が問題をシェアし、心のケアにまで踏み込める未来。今後10年をかけて目指すビジョンを、「見える化」しました。

	悩み	ささえる活動	活動目標
子ども (病弱児)	友だちと会えない 家族と会えない 将来が不安	01 交流支援ロボット貸出事業 02 グッドブラザー (GB) 育成・派遣事業 03 映像・絵本作成等事業	01 年間運用回数30回 02 オンラインでGB活動週2回実施 院内施設イベント年4回 04 病弱児きょうだい児向けイベント 3回 グリーフケアカフェ 2回 家族会 1回 ピアサポート事業随時 普通寺ピアサポートカフェ 4回 エールバッグ配布
家族	心細いのは子どもたちだけじゃないんだよね 経済的な不安がある 相談相手がない	04 心のサポート事業 05 進学・就職等自立支援事業	
医療者	病弱児たちを支えたいが、治療・教育活動以外に余裕がない	01 交流支援ロボット貸出事業 02 グッドブラザー (GB) 育成・派遣事業	03 活動報告を兼ねた映像作品を制作し、さぬき映画祭等で上映 絵本作成 新作1作
教育		06 講演・広報活動	03 勉強への焦りと心の不安がやわらぐね
行政	病弱児の困りごとを知らない	03 映像・絵本作成等事業	06 講演会 月1回、年間500人に活動情報を伝える。 年1回のシンポジウムイベント開催

- 01 会いたいをつなげる 交流支援ロボット貸出事業
- 02 今を支える グッドブラザー (GB) 育成・派遣事業
- 03 ともにつくる 映像・絵本作成等事業



子どもたちの入院先と家・学校などをオンラインでつなぎ、遠隔でコミュニケーションができるロボットを貸出しています。



学生が主体のボランティア事業。入院先を訪れ、楽しいゲームや手作りの問題集で子どもたちの心と学習のケアをしています。



子どもたちや家族が打ち明けづらい心の問題を、映像・絵本などに作品化し、教育・医療関係者の方へシェアしています。

病弱児とは

小児がんや心臓病など慢性的な疾患を持ち、長期入院や治療が必要な子どものこと。家族や学校と離れ、「当たり前が当たり前」にできないことに悩んでいます。

家族とは

長期治療が必要な子どもの両親と兄弟(きょうだい)。両親は突然の我が子の変化に心がついていけず、悩む両親の様子を見てきょうだいのストレスを抱えてしまいます。

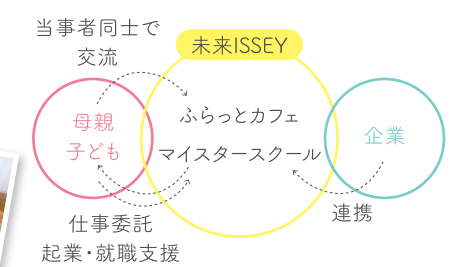
目指すビジョン(変化・成果)

すぐに	3年後	5年後	10年後
病弱児・生活・学習・将来の悩みについて、周囲に打ち明けることができる 不安ははき出してしまえばいいんだよ 家族が子どもの病気やきょうだい児について相談していいと感じられる	抱えている悩みに対し、頼れる人(医療・行政・教育関係者・GB・未来ISSEY)がいることを知っている 子どもと家族が抱える問題をどこに相談していいかわかっている	身近に頼れる存在がいることを知り、困ったらいつでもサポートを求められる 各機関が連携し、病弱児とその家族に関わる情報交換が進められている	子どもとその家族が希望を持って治療に取り組み、明るい未来を感じられる 当たり前が当たり前になる！ 病弱児が孤立しない学びが途絶えない支援体制ができている 誰ひとり取り残さない社会へ！
治療以外のことで気にかけてもらえる 治療中も在籍中(前籍校)のようなサポートが必要だと知る 病弱児とその家族の現状を正しく知る	病弱児の存在を教育現場(前籍校)に伝えるようになる 学習に不安を抱える病弱児の現状を知り、院内学級等と連携して対応する 行政内(保健所⇄市町村)で情報共有ができ、家族に適切な情報提供ができる	地域みんなで問題を考えることが大事	

- 04 不安に寄り添う 心のサポート事業
- 05 未来をささえる NEW!! 進学・就職等自立支援事業
- 06 つたえる 講演・広報活動



子どもたちの学習の遅れに対する不安を、オンライン家庭教師サービスなどで支援。入院に付き添うご家族の方へ、必要なものをロゴ入りバッグに入れてお届けする「エールバッグ」活動も行っています。



心身と経済的な悩みを相談し、当事者同士で交流できるカフェ「ふらっとカフェ」を新設。仕事の委託を通じて社会的自立もサポートします。

病気の治療に活用できる補助金・助成金情報をひとまとめにしてHPで発信
未来ISSEYの活動をもっと詳しく知るなら



未来ISSEYは行政ではありません。地域で暮らすあなたにパートナーになっていただけると、もっと心強いのです。次のページで、私たちからのお願いを聞いてください。